

INTERVIEW

TAAサロン

あの人にきく



ヤフー株式会社
常務執行役員 メディアカンパニー長

宮澤 弦さん

1982年生まれ。北海道札幌市出身。2004年、東京大学卒業とともに株式会社シリウステクノロジーを創業、代表取締役役に就任。2010年8月、ヤフーに買収され、2014年4月より執行役員(最年少)、検索サービスカンパニー長に就任。2018年より現職。ストレスをためないために「よく笑って、よく寝ること」がモットー。

東京 広告 協会報

2019
VOL.
114

TOKYO ADVERTISING ASSOCIATION (TAA)

発行 公益社団法人東京広告協会
東京都中央区銀座7丁目4番17号 電通銀座ビル7階
TEL.03(3569)3566 FAX.03(3572)5733
E-mail info@tokyo-ad.or.jp

<http://www.tokyo-ad.or.jp>

インターネット化が進むリアルライフ。その“入り口”であり続けるために

学生時代からモバイルを軸に起業

……宮澤さんは大学卒業直後からモバイルの広告プラットフォームを作る会社を創業されましたね？

学生時代に起業して、そのまま卒業と同時に会社を設立しました。2004年当時、自分たち若者はパソコンよりも携帯のインターネットを積極的に使っていたので、そこに軸足を置きました。開発した商品の一つは、位置情報をベースに、現在地から近い店舗の広告を配信するローカル広告というもの。据え置きパソコンに対して外に持ち出せる携帯という利点を生かしたプロダクトです。反響はありましたが、利益を出すには時間がかかるのかなあと感じていたところに、ヤフーの社長だった井上雅博さんから「一緒にやろうよ」と声をかけていただきました。

……2010年にヤフーの一員となりました。当時のヤフーに対する印象はどのようなものでしたか？

その頃、ヤフーは創業14年。世界的にはグーグル

が圧倒的に強かったのですが、国内ではヤフーが優勢でした。すべての意思決定とプロダクト開発も日本でやっている。そのような組織と一緒に仕事をできるのはとても嬉しかったですね。ただ、大企業に買収されたベンチャー企業の元社長はクサッて辞めてしまうというイメージがあったので、「自分はそういう例になりたくない。一生懸命働くので、何か大きなことをやりたい」……みたいなことを言ったことを覚えています。

それで、あいつは何かやらせないと辞めちゃうかも、と上の人が思ったんでしょうね(笑)。「インタレストマッチ(閲覧履歴や検索履歴に応じた広告を配信。ユーザーの興味関心にフィットした広告を表示する)」を強化する特命プロジェクトのリーダーを担当することになりました。

当時、インタレストマッチはなかなか収益が上がらず、再強化プロジェクトが作られたところでした。その担当になり、例えば数十億円の売上を1000億に、というようなミッションが課せられたわけです。さあどうしようか、というスタートでした。

組織運営も土台作りが大切

……いきなりの大役ですが、果たす自信はあったのでしょうか？

自信はありませんでしたが、その時にタッグを組んだプロジェクトマネージャーと二人三脚でやったことが大きかったと思います。一緒に、あるべき姿と現状を照らし合わせ、進むべき方向を確認しながら、志のある人たちに仲間になってもらい、チームができていきました。目標に対して正しいことを言っている人の声を逃さないように、本当に能力のある人を集め、その力がしっかりとプロジェクトに反映されるようにして……それから1年ほどしてロジックを大胆に刷新し、「Yahoo! ディスプレイアドネットワーク」というブランドにリニューアルした頃から、右肩上がりの成長が始まりました。

……正しい声を逃さず、人の能力を見極める。そのような“目”を以前からお持ちだったのですか？

“見る目”があるとは思いませんが、他の人より長けているかと思うのは、いわゆる“異能の人”を抵抗なく受け入れられることです。良いことを言っているのに伝え方がまずくて、あの人と一緒にプロジェクトは嫌です、と言われてしまうような人が組織には必ずいるものです。私はそういう人が好きで、どんどん近づいていきます。それで“自分が翻訳して皆に伝えるから、一旦私に言ってください”という仲間を増やすことを意識しています。

持論ですが、真面目でマトモなことを言う人だけが集まっても、突き抜けることがないんですね。圧倒的にすごいことを考えている人はやや付き合いづらいところがあったりして、周りから疎まれてしまうこともあるわけですが、その棘さえ取りのぞければ、持っているものは素晴らしいわけですから。そうやって皆をチームとしてまとめ、いい結果を出すことが大事だと思っています。

……そのような考え方を持つきっかけは、何だったのでしょうか？

大学は農学部だったのですが、そこで土作りが最も大切だということを学びました。きれいな花を咲かせたいと思って化学肥料や薬品を使うと一回はうまくいきますが、土がすぐにだめになります。一方、有機肥料

を使って土を栄養たっぷりのふかふかな状態にすると、毎年花をたくさんつける強い植物に育ちます。私はそちらの方が大切だと思うのです。仕事も同様で、強いショックを与えて一過性の高成績を上げることは全く興味がありませんし、人を組織の中でうまく生かしていくための土台作りが大切だと思っています。

オンラインからオフラインまでのマーケティング活動を支援する会社へ

……2013年にはそれまでの広告部門からメディア部門に移られました。

こちらは門外漢で、全くのゼロからで大変でした。創業時から検索サービスに関わっている担当者がいて、その中に入って私が責任者ですと言っても、信用してもらえないのは当然です。まずは自分を知ってもらい、共に苦勞を乗り越えながら結果を出していくというプロセスを一つ一つたどっていきました。

中でも最大のミッションが、「ヤフー検索」のスマホでのシェアを上げることでした。1年後iPadでのシェアがグーグルと五分になり、2年目にはiPhoneとiPad含めて月単位で何回かグーグルのシェアを超えることができました。さらに「ヤフー乗換案内」アプリは、当時5位から今では競合を抑えて断トツ1位に成長しています。そのような結果を出すことができたのは、メンバーの信頼を得ることができたからだと思っています。多くの人を巻き込みながら結果を出していくにはどうするべきか、今も模索中ではありますが、皆で良い結果を出して喜びを分かち合いたい、という想いが一番のベースです。

ヤフーはこの約20年間、オンライン上の生活を便利にしてきましたが、それは引き続き便利にしつつも、今後はオフラインに進出して、オフラインの生活も便利にしていきたい。ウィンドウの中を出て、リアルライフに関わっていくための一例がスマホ決済サービス「PayPay」です。「Yahoo! JAPAN ID」と連携した「PayPay」を通じて、どんなときに心が動いて購買に結び付いたのか、クーポンで来店して「購入」したこと、ポイント付与による「再購入」なども可視化できることで、広告に加えて販促のお手伝いもできるはず。オンラインからオフラインまでのマーケティング活動を支援する会社になることを目指して、ユーザーのニーズに合わせて変化し、成長し続けていきたいと思っています。（インタビュー・文 牧野容子）

活動報告

【第91回定時総会】開催

東京広告協会の第91回定時総会が2月22日午後3時30分より、本年1月にリニューアルを完了した東京會館7階「Sakura」にて開催され、約180名が出席した。(委任状提出を含む出席正会員数は499名)

審議に先立ち大平明理事長は、「今年の広告界が、活況を呈することを大いに期待しています。改元、ラグビーワールドカップをはじめとする多数のスポーツイベント、イノベーションの現実化として8K放送、5G通信、AIの活用など、一段と人・モノ・情報の動きが活性化していくことと思います。この流れを生かしてまいりましょう。」と力強く語り、5月に行われる『第67回全広連富山大会』への参加を呼びかけた後、総会の開会を宣言した。



大平 明 理事長

その後、長崎之保専務理事による進行のもと、大平理事長を議長に議事に入った。特に議題第2号(第1号議案)、第3号(第2号議案)については、いずれも提案に対し満場異議なく賛成したため承認された。

総会閉会后には、新理事および監事は別室に移動し臨時理事会を開催。理事長、副理事長、専務理事および常務理事を選定した。(下段参照)

引き続き行われた第38回「東京広告協会 白川 忍賞」

の贈賞式では、大平理事長から仲畑貴志氏(クリエイティブディレクター・コピーライター)に同賞が、土橋代幸氏(株)デルフィス常務取締役)に特別功労賞が贈られ、両氏が受賞の言葉を述べた。(4頁参照)

続いて、徳川宗家十九代目、(公財)徳川記念財団理事の徳川家広氏が「関ヶ原から平和憲法まで―日本史の中の江戸時代」の演題で記念講演を行い、約280名が出席し、盛況裏に終了した。(5頁参照)

記念講演終了後は懇親パーティーが開かれ、石井直副理事長が乾杯の発声を行った。会員関係者は和やかに懇談し、親睦を深めた。



石井 直 副理事長

総会次第

○挨拶 理事長 大平 明

○議事録署名人名人選任

○議 題

第1号 平成30年度事業報告の件

第2号 平成30年度決算承認の件(第1号議案)
監査報告(龍宝 正峰監事)

第3号 任期満了に伴う理事及び監事選任の件(第2号議案)

第4号 平成31年度事業計画の件

第5号 平成31年度収支予算の件

役員一覧(順不同・敬称略)

※2019年2月22日現在

理事長	大平 明	大正製薬ホールディングス(株)
副理事長	石井 直	(株)電通
専務理事	長崎之保	(公社)東京広告協会
常務理事	中井良博	(公社)東京広告協会
事務局長	片上 崇	味の素(株)
理事	大野知法	キリンビール(株)(新任)
	山田真二	サントリーコミュニケーションズ(株)
	小出 誠	資生堂ジャパン(株)
	大畑俊樹	第一三共ヘルスケア(株)
	梅岡 久	大正製薬(株)
	土屋洋介	(株)ツムラ
	辻本 聡	トヨタ自動車(株)
	丸山哲朗	パナソニック(株)
	高田 覚	(株)朝日新聞社
	広田勝己	(株)毎日新聞社

理事	安部順一	(株)読売新聞東京本社
	平田喜裕	(株)日本経済新聞社
	松本 肇	(株)産業経済新聞社
	飯田義典	(株)中日新聞社東京本社
	鈴木基予	(株)小学館(新任)
	(藤田)	
	浜島 聡	(株)テレビ朝日
	小池 清	(株)ニッポン放送
	五十嵐博	(株)電通(新任)
	澤田邦彦	(株)博報堂DYホールディングス
	上田 周	(株)朝日広告社
	中井規之	(株)ADKホールディングス(新任)
	久保田和昌	(株)サン・アド
	新井 誠	凸版印刷(株)
監事	龍宝正峰	(株)TBSテレビ
	小池 実	(株)弘亜社(新任)

第38回(平成31年)「東京広告協会 白川 忍賞」贈賞式

「東京広告協会 白川 忍賞」

仲畑 貴志氏 クリエイティブディレクター・コピーライター

贈賞理由 1960年代よりコピーライターの先駆者として活躍、ヒットコピーを数多く生み出し、カンヌ国際広告祭金賞をはじめ、広告賞を多数受賞。1981年仲畑広告制作所を設立し、広告戦略だけでなくマーケティング戦略まで幅広く手掛け、広告クリエイティブの質的向上に大きく寄与。日本におけるコピーライターの地位を確立した第一人者として、卓越した業績を残した。2007年より東京コピーライターズクラブ(TCC)会長を務め、後進の育成にも積極的に取り組み、第一線で活躍するコピーライターを数多く輩出するなど、長年に渡る広告界への多大な貢献は贈賞に値する。

受賞の言葉 この度はありがとうございます。これまで夢中でコピーを書いてきて、いつの間にかこういった賞をいただけるようになりました。近年のデジタル化の進展によって、『デジタルの時代になると表現の形も変わるのでは?』と尋ねられることが多くあります

が、私はそうは思いません。人間はずっと同じところで泣いて同じところで笑っていて、今でもそれが変わらないからです。人間としての感情と心の動きを見定めていくことができれば、大丈夫だと思っています。AIが、とも言われますが、もしもAIが自ら悩んで自殺するような時代になったらそれは怖いと思いますけれども、そのくらい進化するまでは大丈夫だと思っています。表現することが好きなので、これからも変わらずにやっていきたいと思います。本日はありがとうございました。



仲畑 貴志氏



「東京広告協会 白川 忍賞」 特別功労賞

土橋 代幸氏 (株)デルフィス 常務取締役

贈賞理由 1984年トヨタ自動車入社、90年より宣伝部、その後トヨタマーケティングジャパン取締役等を歴任し、2018年6月より現職。トヨタの広告宣伝業務の中核を担い、次々と先進的な広告を発信し広告界全体の牽引役を果たした。また、2015年から2018年2月まで東京広告協会の理事を務め、他の団体でも日本アドバイザーズ協会副理事長、ACC、日本マーケティング協会、日本広告審査機構、ACジャパン、日本ABC協会など公的職務を数多く歴任。公益活動に多大な貢献をするなど広告界の発展向上に大いに寄与している。

受賞の言葉 栄えある賞に、心から感謝いたします。入社当時から宣伝部に行きたいと言っていたのに、財務部に配属されてずっと希望が叶わず、妻に相談

したところ「そんなにイヤならすぐに辞表を提出しにいきましょう」と言われて、かえって転職を思いとどまったこともありました。その後、念願となって宣伝部に異動になった後には、当時電通にいた佐々木宏さん、岡康道さんたちに広告のことを一から十まで教えていただきました。失敗しても立ち直れる環境があり、新しいことにチャレンジできたことに感謝しています。皆様に支えられてきた経験をもとに、これからは広告界に恩返しをしていきたいと思います。この度は誠にありがとうございました。



土橋 代幸氏

今日は、戦国・江戸・明治・大正・昭和・戦後…とただ時代が積み上がっているのではなく、歴史の中に一本の筋が通っていることをお伝えできればと思います。例えば私にしましても、徳川宗家は明治維新の時の15代で終わらずに、今の私の19代目まで続いております。ちなみに、水戸徳川家から養子として入った慶喜公とは家康公まで遡らないと血が繋がらず、ほぼ他人です。

明治維新が起きた理由を一言で言うと、志士を自称する若者たちが倒幕を志したからではなく、幕府の財政難のためでした。このため幕府中枢は幕府の崩壊を予想して、その後のために手を打ちます。それで慶喜公が引退した後で、徳川家の跡を取ったのが、当時6歳の徳川家達、私の曾祖父です。家達は6歳で西郷隆盛に江戸城を明け渡すと、数万人の家臣を引き連れて静岡に移ります。そして16歳でイギリスへと留学しました。

意外に思われるかもしれませんが、明治初期には将軍家で代替わりが起きたのみならず、各大名も大体が家督を後に譲って引退しています。そして若い新当主の多くが、海外留学している。これは幕府も各藩も財政破綻を起こしており、債権者が詰めかける状態にあったからだと私は考えています。

「借金を返して欲しいのですが、殿様は？」

「若様になりました」

「では若殿様は？」

「海外に留学中です」

こうやって借金をうやむやにしていって、と。大河ドラマには出てこない明治維新の風景です。

その後、明治22年には大日本帝国憲法が公布され、翌年に今日の参議院の前身である貴族院ができ、徳川家達は自動的にその議員となります。日露戦争前夜の明治36年に家達は貴族院議長となり、同じ職に30年間止まりました。戦前の総理大臣は暗殺も多くあったせいで交代は非常に頻繁でしたが、その一方で三権の長のポストに同じ人物が30年も止まっていた。しかも、大日本帝国にとっては旧体制である徳川将軍家の当主が、だいたい、明治2年に華族の身分が定められた際に、徳川宗家は一番上の位の公爵とされました。明治維新が徳川幕府を倒した革命だったというのは、このあたりを見ると神話でしかなかったのではないかと、私は考えております。

さて、本題の関ヶ原の戦いですが、こちらは日本史上の大事件としては、おそらく一番よく知られています。

「徳川家康率いる東軍と石田三成の西軍が岐阜県の関ヶ原町で激突して1日で雌雄が決せられ、徳川家康は天下人となり、江戸幕府を開いて江戸の泰平の世が始まりました。」

誰もが知っている顛末ですが、実はこれには多くの疑問点があります。1598年に豊臣秀吉が亡くなった後、豊臣政権の最高実力者は徳川家康でした。それに反発する石田三成は失脚、家康以外の大老（閣僚）である前田利長、宇喜多秀家、上杉景勝、毛利輝元らは順に大坂城を去って、関ヶ原前夜の時点で、すでに家康は独裁者に近い状態だったのです。それなのになぜ、天下分け目の戦いが起こるのか。

それから、家康の東軍の最大級の功労者は福島正則ですが、なぜか生前に大名の地位を奪われています。悪い先例を残しかねない、この冷たい人事は何なのか。

また、会津の上杉景勝は、徳川家康の半分くらいの石高しかなかったのですが、なぜか家康と激突する道を選んでいます。

さらに、鹿児島島の島津義弘が約2000名を率いて西軍に参加していましたが、戦いが終わった後で東軍の本陣に対して突撃、兵力を55名まで減らして逃げ延びました。ところが島津義弘はお取り潰しに遭うどころか、その後琉球王国の征服を幕府に認めてもらって所領を55万石から77万石に増やしています。この時琉球は中国の正式の属国で、当時



徳川 家広氏

の日本は秀吉の朝鮮出兵の余波で中国と貿易ができない。しかし琉球を押さえた島津家は日本の大名で唯一、中国との貿易が可能となっていたのです。とても関ヶ原で敵同士だったとは思えません。

種明かしをしますと、関ヶ原の戦いは秀吉の朝鮮出兵の後始末でした。朝鮮出兵で異様な強さを見せた島津はもちろん、三万人という大軍を率いていった毛利も、朝鮮遠征軍の総司令官だった宇喜多も、秀吉没後の日本の顔には、なりえなかった。朝鮮との国交回復も、中国―大明帝国との貿易再開も叶わない。秀吉亡き後は朝鮮・中国との関係を修復できる人が日本のトップになるべきだと多くの武将が考えていて、家康が祭りあげられた。

実は徳川家康と島津義弘は、かなり早くから緊密な関係にありました。ところが朝鮮王国は島津が許せない。島津軍が西軍で無茶苦茶な戦いぶりを見せたのも、幕府としても扱いかねていると幕府が朝鮮側に申し開きをするためのパフォーマンスだったと考えるのが正しいと思います。荒唐無稽のようですが、幕府が朝鮮と国交を再開した2年後の1609年に、島津家は琉球を征服しています。幕府の朝鮮外交と薩摩の琉球侵攻は連動していたと見る方が自然です。

征夷大将軍になって幕府を開いた家康ですが、実は決して一件落着という心境ではなかったはず。というのも、それまでの日本では家柄、血筋が全てだったのが、素性の知れない豊臣秀吉が天下人になった後の日本では、この伝統は実質的に崩壊しています。誰でも出世できるという思いが、日本全土に広まりました。さらに従来は大陸からの文物をひたすら有難がっていたのが、朝鮮出兵によって日本には中華帝国と互角の軍事力があると多くの日本人が気がついてしまったのです。この二つの変化を結び付けると、「大陸再侵攻による出世」という世論が醸成されたことは、想像に難くないと思います。家康について大名らは、もう戦争はこりごり、また戦国時代からやり直しではこれまでの苦労が水の泡になると考えて家康のもとに集まってきたというわけです。

徳川幕藩体制が目指したことを一言で言うと、秀吉のような化け物が二度と出てこない世の中をつくる、ということです。その為に平和が大切で、禁中並公家諸法度、武家諸法度、社寺法度などを作りました。特に禁中並公家諸法度は第一条に「帝は学問に専念してください」とありましたが、この法度は朝廷と幕府の間の契約という形を取っていました。いわば、憲法です。これを根本法典として、江戸時代の平和は250年続いたわけですから、これは、まさに世界最初の実効性のある成分憲法でした。

とはいえ、江戸時代を通じて戦争待望論、第三次朝鮮出兵・大陸侵攻待望論は根強く、けっきょく徳川幕府は少数と党の政権だったと言えるでしょう。これが明治維新の際に、幕府があっさりつぶれた理由だと思えます。

ここで16代徳川家達に戻りますと、家達の一番重要な仕事は、第一次世

界大戦終結後のワシントン海軍軍縮会議(世界初の軍縮会議)に全権大使の1人として米国に渡り、のみならず日露戦争・シベリア出兵の導火線となった日英同盟をうまく破棄に導いたことです。もっとも、そのせいで海軍の雇ったならず者によって屋敷を焼かれたりもしています。

家達の後を襲ったのが17代、徳川家正でしたが、こちらは外交官を勤めた後、1947年の最後の帝国議会の貴族院で、議長となっています。この議会で今の日本国憲法を審議して成立させたわけですが、よく見ると、日本国憲法は禁中並公家諸法度の象徴天皇制と、徳川の平和主義とを踏襲する憲法です。それも道理で、日本国憲法を考案した人たちは武家政治の伝統を踏襲する旧内務省のエリート官僚達でした。アメリカの押し付けと言われることの多い日本国憲法ですが、その源流は遠く1600年の関ヶ原の戦いの後で家康と東軍の大名たちが語り合った「もう戦はこりこり」という

精神に求められます。

つまり、江戸・明治・戦前・戦後は、少なくともこの400年間一本の太い棒で貫かれています。明治維新にしても、実際には豊臣秀吉が象徴する「戦争と出世」の循環が復活しただけのことで、これは実は江戸時代には休眠状態だっただけ、常に潜在してはいたのです。

では、明治維新で何か新しいことはあったのか？

実は一つ、ありました。それは、日本建国以来初めて、皇室が本拠を近畿地方から江戸へと移したことです。これは日本史上空前の変化だったと思います。大陸の中華帝国の周縁にある国家から、中華帝国と対等に並立する国へという長い脱皮の過程が、明治維新後の江戸遷都によって、大きく前進したのであります。どうも長々とご静聴、ありがとうございました。

2019年度・2020年度 委員会委員一覧 (敬称略・順不同)

任期の満了に伴い、四委員会委員の改選を行った。新たに2020年12月31日までの任期を務める四委員会委員は、下記の通り。

総務委員会

委員長	片上 崇	味の素(株)
副委員長	奥田陽太郎	(株)電通
委員	大野知法	キリンビール(株)
	加室 信	第一三共ヘルスケア(株)
	福田裕一朗	(株)毎日新聞社東京本社
	有田 淳	(株)読売新聞東京本社
	清澤 優	(株)産業経済新聞社東京本社
	松下寿樹	(株)中国新聞社東京支社
	高木温人	(株)日経BP
	水川博文	(株)テレビ朝日
	小野直子	日本テレビ放送網(株)
	小池 清	(株)ニッポン放送
	大矢憲昭	(株)博報堂

広報委員会

委員長	高田 覚	(株)朝日新聞社
副委員長	小出 誠	資生堂ジャパン(株)
委員	小野 剛	(株)毎日新聞社東京本社
	稲川 勉	(株)神戸新聞社東京支社
	高倉浩之	(株)西日本新聞社東京支社
	菊地 学	(株)河北新報社東京支社
	光山洋三	(株)スポーツニッポン新聞社東京本社
	石井明夫	(株)TBSテレビ
	池田泰士	(株)電通
	高田豊造	(株)博報堂
	中島 香	(株)ADKホールディングス
	長谷川千春	(株)大広
	高木典和	(株)読売エージェンシー
	高橋庸江	(株)東急エージェンシー

業務委員会

委員長	五十嵐博	(株)電通
副委員長	赤坂 渡	(株)中日新聞社東京本社
委員	牧野清克	サントリーコミュニケーションズ(株)
	瀬戸 純	(株)ツムラ
	菅野隆志	トヨタ自動車(株)
	林 久之	(株)朝日新聞東京本社
	長谷川尚志	(株)日本経済新聞社東京本社
	笠井孝一	(株)北海道新聞社東京支社
	平岡利介	(株)テレビ東京
	前田武志	読売テレビ放送(株)東京支社
	須垣有司	(株)フジテレビジョン
	井桁真一	(株)ニッポン放送
	藤井慶太	(株)博報堂
	今中一郎	(株)朝日広告社
	蓮沼周一	(株)日本広告社

法務政策委員会

委員長	関 邦彦	三菱電機(株)
副委員長	増田 浩	(株)博報堂DYホールディングス
委員	平池綾子	資生堂ジャパン(株)
	二上裕之	(株)朝日新聞社
	米川寛教	(株)読売新聞東京本社
	小泉友宏	(株)日本経済新聞社東京本社
	佐々木泰	(株)講談社
	松江陽一郎	(株)テレビ朝日
	久保田直	(株)ADKホールディングス
	古河崎敏夫	(株)大広
	永江 禎	(株)電通
	近藤康之	(株)東急エージェンシー
	木村智幸	(公財)広告審査協会
	田嶋 炎	(一社)日本民間放送連盟
	橘 一	(公社)日本広告審査機構

新入会員社紹介

Twitter Japan株式会社



Twitterについて

Twitter (NYSE:TWTR) には、世界で「今」起きていることや人々が考えていることがリアルタイムに集まります。Twitterの上では時事、エンターテインメント、スポーツ、政治から身近なことからなど、さまざまな分野の会話が生まれ、異なる視点からの意見や情報が共有されていきます。

Twitterは twitter.com をはじめ、さまざまなモバイル機器からも40以上の言語でご利用いただけます。詳細は about.twitter.com または @Twitter、@TwitterJP をご参照ください。TwitterおよびPeriscopeは twitter.com/download、periscope.tvからダウンロードいただけます。



株式会社ジェイアール東海エージェンシー リニア中央新幹線の開業を見据えた次のステージへ



株式会社ジェイアール東海エージェンシーは、JR東海グループ唯一の広告会社です。東京のほか名古屋・静岡・大阪に営業拠点を置き、JR東海の京都・奈良キャンペーンやスマートEXの広告宣伝展開など、グループ内の広告宣伝を一元的に取り扱っておりますが、近年とみに、グループを越えた企業・団体などから広告宣伝のお仕事を頂く機会が拡大しています。

駅や列車内のスペースを活用した自社広告媒体の開発・販売管理は、広告営業とともに社業の両輪であり、新幹線車内の広告媒体や「のぞみ」停車駅を中心に展開するデジタルサイネージなど、幅広い顧客の多様なニーズにお応えしております。

最近では、新幹線可動柵に「新幹線ホームドアシート」を新設し、視認性の高さでグリーン車ご利用のお客様への訴求効果など、広告主から高い評価を頂いております。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催や2027年のリニア中央新幹線開業など時代の



新幹線ホームドアシート (イメージ)

節目を見据え、今後もJR東海グループの様々なネットワークを駆使できるメリットを生かして積極的にコミュニケーションビジネスを展開して参ります。会員皆様とコミュニケーション活動を推進される折に、何らかの形でお役に立てる機縁があれば誠に幸甚に存じます。

ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

「労基法改正」セミナーを開催

法務政策委員会は、2月25日、「労基法改正」セミナーを(一社)ACC、(一社)日本広告業協会と共同で開催した。4月から一部施行される「働き方改革関連法」について、適切に対応する事が必須となった背景を受けたもの。

テーマを「70年ぶりの労基法改正。あなたが法律違反にならないために」とし、第一部講師に社会保険労務士法人EEパートナーズより特定社会保険労務士の藤原佳代子氏、第二部講師にIEYASU(株)代表取締役の川島寛貴氏を招いた。第一部では法律改正のポイントについて、第二部では実際の事例を踏まえ、企業の対応について説明した。

当初定員60名であったが申込多数の為、同日に2回開催し、計120名の参加があった。参加者は熱心に聴講し、説明会終了後も個別に質問をしていた。



イベント案内

実践広告スキルアップセミナー開催 7/9(火)、16(火)、23(火)

2019年度「実践広告スキルアップセミナー」を、7月9日(火)、16日(火)、23日(火)に、千代田区立日比谷図書文化館B1日比谷コンベンションホール(大ホール)で開催します。今年のテーマを『デジタルトランスフォーメーション

2019(仮)』とし、「広告ビジネス」、「メディア・コンテンツ」、「デジタルプラットフォーム」の3分野にて、各分野の第一線で活躍の方々を講師にお招きします。

詳細が決定次第、HP、郵送等でご案内します。

全広連富山大会開催 5/16(木)～17(金)

2019年5月16日(木)～17日(金)、第67回全日本広告連盟富山大会が開催されます。大会テーマを『広告の富を、次代に～「先用後利」の地から～』とし、式典、パネル

ディスカッション、記念講演、懇親会などが開催されます。大会プログラム等の詳細は全広連ホームページをご覧ください。



インフォメーション

1月度 理事会・委員会開催報告

1月17日(木)	法務政策委員会
1月18日(金)	業務委員会
1月22日(火)	広報委員会
1月25日(金)	総務委員会
1月30日(水)	第36回定例理事会

4月度 理事会・委員会開催スケジュール

4月10日(水)	法務政策委員会
4月11日(木)	広報委員会
4月15日(月)	業務委員会
4月17日(水)	総務委員会
4月24日(水)	第37回定例理事会

新入会員社 (敬称略、順不同)

- (株)AJA 代表取締役社長 野屋敷健太
 プロダクトマネージャー 田平淳二
 (株)近宣東京支社 専務取締役東京支社長 大橋恒夫